



2023 年 12 月発行



特集「なばりのきらきらウーマン」

第 22 回 三重県公立小中学校女性校長教頭会 会長 **阿形明美** さん

あがた あけみ

名張できらきら輝く女性へのインタビュー企画・第 22 回目は、名張市立桔梗が丘南小学校校長で、三重県小中学校女性校長教頭会会長の阿形明美さん。落ち着いた語り口調と、凛としたたたずまいが印象的でした。

(インタビューの内容はこちらです)

ノーベル経済学賞に 男女間の格差是正など研究の ゴールディン氏

今年のノーベル経済学賞に、アメリカ・ハーバード大学のゴールディン教授が選ばれました。男女の賃金格差の要因や労働市場における女性の役割などの研究が評価されました。ゴールディン氏は会見で日本のことにも言及。日本の女性は短時間労働が多いと指摘し、「働く女性が増えるのはいいこと。だが彼女たちは本当はどこにも進んでいない」と述べました。日本の低い出生率の改善には、「現役世代の考えを支配している年配の人を教育する必要」や、家庭だけでなく職場が変化する必要性を指摘しました。

男女の賃金格差 日本は G7 の中で最下位

OECD(経済協力開発機構)によると、加盟 38 カ国の男女の所得の差の平均は 11.9%、最も賃金格差が少ないのはベルギー(1.2%)。日本は 21.3%で、G7 の中で最下位となっています。OECD 加盟 38 カ国の中では 35 位です。

参考資料:WEB サイト「毎日新聞 特集_ノーベル賞」「NKN オンライン ノーベル賞 2023」

日本は
女性を働かせる
だけではダメ。

日本の女性は、フルタイムで
昇進機会もある正社員でなく、
パートなどの
短時間労働が多い

ゴールディンさん

ノーベル経済学賞で
女性の受賞者は
3人め



名張市男女共同参画センター

三重県名張市希中央 5 番町 19 番地
Navarie 2 階名張市市民情報交流センター内

TEL 0595-63-5336 FAX 0595-63-5326

e-mail danjo-center@emachi-nabari.jp
https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/



「つうしん」
web 版はコチラ

ご意見・ご感想をお聞かせください



パパの育児休業 について 考えてみよう！



いいこといっぱい♪

子どもといい関係に！
家事・育児のスキルがアップ！
パートナーとの関係も良好に！
視野が広がり仕事にも役立つ！
(経験談より)

制度は世界 1 位の使いやすさ

ユニセフの調査によると、日本の育休制度は世界1位。父親に認められている期間が長く、期間中の給付額も高水準であることが理由です。昨年10月には、「産後パパ育休」制度が作られ、子どもの生後8週間以内に、4週間まで(2回に分割可)休みを取れるようになりました。

男性の取得率はまだまだ低い

男性の育休取得率は、ここ数年で大きく伸びています。今の方法で記録を取り始めた 1996 年度は 0.12% でしたが、2017年度には 5%を超え、2021 年度は約 14%、2022 年度は 17%と過去最高となっています。

それでも政府の目標(2025年までに 50%、2030 年までに 85%)には大きな開きがあります。

さらに取得期間を見てみると、民間企業で約半数が2週間未満、約9割が3カ月未満。女性の約8割が10カ月以上取得していることと比べても短期間です。

男性が育休を取得しない理由は、「収入を減らしたくない」、「取得しづらい雰囲気・周囲の理解がない」、「自分にしかできない仕事がある」など。背景には、男女間の賃金格差と、ジェンダーによる役割分担の意識などがあると考えられるよ。



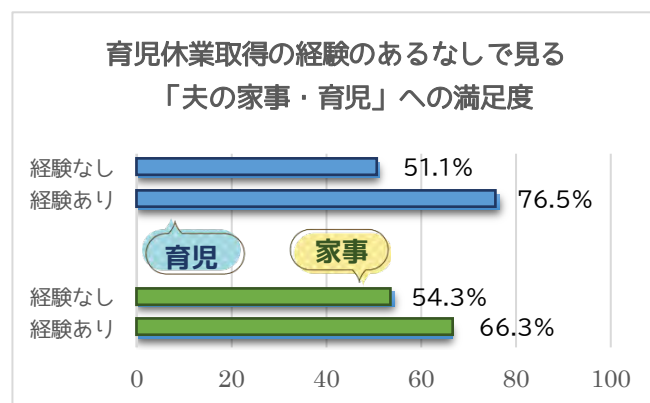
20～30代では、育休を取得したいという人が6割を超えているよ。「2カ月以上取得したい」人も、20代では約3割いるんだって。希望と現実には差があるんだね。

ノルウェーでは「同僚が育休をとると、取得率が11%上がる」、「上司が育休をとると、取得率が2.5倍に」という調査結果も。前例があるって心強いよね！



「パパの家事・育児」への満足度が上がる

20～60代の男女に聞いた昨年の調査結果です。夫から見た「妻の家事・育児」への満足度は、育休取得経験の有無では大きく変わりません。一方、妻の回答によると、夫が育休を経験したほうが「夫の家事・育児」への満足度が高い傾向にあります。夫のスキルアップだけでなく、育休取得によって構築された協力関係がその後も力になるのではないのでしょうか。



令和5年版 男女共同参画白書 特-65 図より作成

誰もがキャリアをあきらめない労働環境を

これまで男性の育休取得が進まなかった背景には、残業や転勤にも応じ、「仕事に100%投入」できる「主婦付き男性」を前提とした働き方を職場が求めてきたことがあります。また、出世に影響がないという信頼があれば、取得率は上がります。数では圧倒的に多い男性ボスが前向きに音頭をとる影響は大きいと言えます。

今は、男性にも「大黒柱として自分だけが家計を支える」ことを望まない人が増えています。「夫婦が共に家計を支える」という意識の醸成のために大事なことは、誰もがキャリアを中断しないことを予想できる環境です。女性が結婚・出産し、50歳になっても同じように働ける将来が見渡せることで、家事・育児も対等にとらえ、共に支え合うことにつながります。

～カエル！ジャパン通信 vol. 209 コラム

これからの働き方を考える～より要約

参考資料:「令和5年版 男女共同参画白書」、web サイト「NHK オンライン」、「NHK みんなでプラス#これからの育児」

学びました！
多様な視点から
考える防災

2023年度人権啓発まちづくりリーダー養成講座

〈主催：名張市人権センター、名張市男女共同参画センター〉

「災害時に問われる地域防災力～平時から取り組む多様な共同参画～」

10月4日14:00～16:00、名張市役所1階 大会議室で行いました。

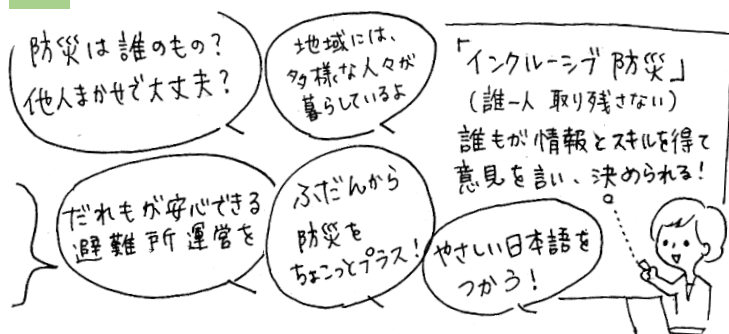
講師は、「NPO 政策研究所」の専務理事である相川康子さん。災害対応に男女共同参画や多様性の視点を埋め込むためには、災害発生時ではなく、平時から改善する取組が必要である等のお話をいただきました。

しが防災プラスワン～女性の視点と多様性～
滋賀県が役立つカードを著作権フリーで公開
してくれています♪

しが防災プラスワン 検索

〈感想より抜粋〉

- ・名張市には、近年大きな被害もなく防災意識が薄れつつあったが、見直すきっかけになった。
- ・防災に男女共同参画の視点を。かた苦しくなく具体的な話をしていただけた。できることから実践したい。
- ・インクルーシブ防災の概念をもとに、日ごろから自分がすべきことは何かを考える機会になった。
- ・日常の中の人権が大切であることを改めて感じた。



つうしん 124 号アンケート

つうしんを手にとっていただきありがとうございます。今後の編集のために、ご意見をお寄せください。下記①～⑤の必要事項をご記入のうえ、WEB、メール、ハガキ、または FAX でお送りください。(送料等はお負担ください)

抽選で2名様に
図書カード
1,000 円分 進呈

- ① 記事の内容は参考になりましたか？ (a) 参考になった (b) 参考にならなかった
 - ② 「参考になった」を選択された方はどの記事が参考になりましたか？(複数回答可)
(a) 特集「なばりのきらきらウーマン」 (b) ノーベル経済学賞 (c) パパの育児休業
(d) 多様な視点から考える防災 (e) 相談日程
 - ③ 興味のあるテーマ、今後読みたいと思うテーマはどれですか？(複数回答可)
(a) 生命の安全教育(性教育)のこと (b) 世界の男女共同参画の取組 (c) その他()
 - ④ 特集「なばりのきらきらウーマン」についてご意見・ご感想をお聞かせください。
 - ⑤ 124 号の記事全体について、ご意見・ご感想をお聞かせください。
- ★ お名前、年齢、住所、連絡先、つうしんの号数を明記の上、下記連絡先へお送りください。

WEBで回答↓



メールで回答↓



応募締切

2/10㊥

(必着)

〈WEB 回答〉 <https://forms.gle/DGk1xgvU2DqgQnss7>

〈メール宛先〉 danjo-center@emachi-nabari.jp「つうしん124 号アンケート」

〈郵送宛先〉〒518-0775 名張市希央台 5-19 名張市男女共同参画センター宛

〈FAX 宛先〉 0595-63-5326

※ご記入いただいた個人情報は図書カード発送のみに使用し、当選発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

男女共同参画センター担当の S が、入職して初めてチャレンジしたプチ企画「パープル＆オレンジリボンづくり」は、女性に対する暴力をなくす・児童虐待防止の願いをこめた2色のリボンを作って身に着けようというものでした。11/11～28の期間中、30人が43個のリボンを作ってくれました。海の向こうでは戦争という巨大な暴力が振るわれています。身近で人知れず起きている暴力も、遠くの人々に降り注ぐ爆弾も、あってはならないことです。私には何ができるのか。思考停止にならずに考えながら生きたいと思います。



相談日程

名張市男女共同参画センター

1月
2024

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	休館日	休館日	休館日	休館日	 女性弁護士 による法律相談 10:00～12:00 13:00～15:00  女性のための相談 13:00～16:00	
7	8	9	10	11	12	13
	休館日	 女性のための相談 9:00～12:00  人権相談 13:30～16:00	 女性のための相談 9:00～12:00	 男性のための相談 17:00～19:00	 女性のための相談 13:00～16:00	
14	15	16	17	18	19	20
	休館日	 人権相談 13:30～16:00	 女性のための相談 9:00～12:00	 メンタルヘルス相談 10:00～12:00	 女性のための相談 13:00～16:00	
21	22	23	24	25	26	27
	休館日	 メンタルヘルス相談 13:00～16:00	 女性のための相談 9:00～12:00		 女性のための相談 13:00～16:00	
28	29	30	31	●予約電話 63-5336		
	休館日		 女性のための相談 9:00～12:00			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
					 女性弁護士 による法律相談 10:00～12:00 13:00～15:00  女性のための相談 13:00～16:00	
4	5	6	7	8	9	10
	休館日		 女性のための相談 9:00～12:00	 男性のための相談 17:00～19:00	 女性のための相談 13:00～16:00	
11	12	13	14	15	16	17
	休館日	 人権相談 13:30～16:00	 女性のための相談 9:00～12:00	 メンタルヘルス相談 10:00～12:00	 女性のための相談 13:00～16:00	
18	19	20	21	22	23	24
	休館日	 人権相談 13:30～16:00	 女性のための相談 9:00～12:00			
25	26	27	28	29		
	休館日	 メンタルヘルス相談 13:00～16:00	 女性のための相談 9:00～12:00			

★「女性のための相談」23日(金)は、祝日のためお休みです。



女性のための相談

予約優先

電話相談可

毎週水曜日 9:00～12:00 ※祝日の場合は
毎週金曜日 13:00～16:00 お休みです



女性弁護士による法律相談

要予約

面談

毎月第1金曜日 10:00～12:00
13:00～15:00



男性のための相談

予約優先

電話相談可

毎月第2木曜日 17:00～19:00



メンタルヘルス相談(男女共)

要予約

面談

毎月第3木曜日 10:00～12:00
毎月第4火曜日 13:00～16:00



人権相談

要予約

面談

毎月2回 ※詳しくは、名張市人権センター(☎63-0018)へお問い合わせください

Special interview 22

「男女共同参画」とは「自分らしくあること」ではないかと私たちは考えています。
男らしく、女らしく、ではなく、ありのまま生き生きと暮らす。
そんな風に「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性たちをご紹介します。

あ が た あ け み 阿形 明美さん

名張市立桔梗が丘南小学校 校長
三重県公立小・中学校女性校長教頭会 会長

profile

小学2年生から名張に在住。小学校の教員として34年間勤務。校長に就任して4年目。本年度、三重県公立小・中学校女性校長教頭会会長。

子どもたちと教職員の 幸福と成長を追求して

お仕事のことを教えてください。

小学校の教員として、子どもの人生の大切な時期に関われることに、やりがいと責任を感じて仕事をしてきました。校長になってからは、学習や生活の場である学校で、子どもたちをはじめ教職員が元気で過ごすことを第一に考えています。また、学校の最高責任者として、児童を見守り、教職員、保護者、地域などと連携を図りながら、学校経営全体が円滑に進むように心を砕いています。

本年度は伊賀名張地区から役員として選出され、三重県公立小・中学校女性校長教頭会の会長を務めています。

三重県公立小・中学校女性校長教頭会 について教えてください

この会は1982（昭和57）年、公立小・中学校の女性校長、教頭で結成されました。職能の向上

をめざすことや、女性教師の地位向上に努め、他の研究機関と協力して義務教育の振興に寄与することが目的です。現在会員数は校長118名、教頭182名、合わせて300名で、ほぼすべての女性管理職が会の主旨に賛同して入会しています。全員が参加する講演会の他、県内8つの各地区で日々の実践を報告し合い、悩み等も交流し、共有しています。会を通して横のつながりが深まっていると実感していますね。また、県教育委員会への教育予算要望の会にも参加し、女性管理職の登用率を上げることや、男女教職員がともに育児休業や育児短時間勤務を取りやすくすることなど、独自の視点から声を上げています。女性管理職の登用はまだまだ少数ですが、だからこそ、組織として行政に働きかけていくことが必要だと考えています。

※編集部注：全国で公立小・中学校の女性管理職の割合は21.6%、三重県は24.8%。職位としては教頭より校長に占める女性の割合が低い。（2022年度調べ）

管理職に女性が少ないことや男女共同参画についての考えを聞かせてください

幼い頃から、やりたいことを反対されずに伸び伸びと育てられました。そのおかげか、「チャンスがあれば挑戦していく」というマインドが身に付いたと思いますね。これまで、さまざまな事情で女性が管理職をめざすことをあきらめている現状も見てきました。女性の管理職を増やすことは、意思決定の場に多様性が生まれることや、子どもたちの働き方・暮らし方のロールモデルとなることにつながります。

私自身は、自校の教職員に対し、「男性だから、女性だから」というジェンダーバイアスで見ることがないよう、自分の言動を考えています。また、発達段階に応じた男女共生教育を行っています。学校のみでなく、家庭や地域をはじめ、子どもに関わるすべての人たちが取り組むことが必要です。



これまでご苦労されたことを教えてください。

人とつながりあう仕事です。援助の必要な人と実際に関わって活動する「対人援助職」であると自覚していますが、意思の疎通がうまくいかないと苦労します。例えば、電話口で発したひと言が相手を不快にさせてしまったことがあります。顔を見て話していたら、もっと真意が伝わったのではないかと思います。「子どもたちのために」という思いは一緒なのに、気持ちががすれ違ふとしんどいですね。やはり「フェイス・トゥ・フェイス」で話すことがコミュニケーションにおいてとても大切だと痛感しています。

また、以前は、長時間労働により、自らを犠牲にするような働き方をしてきましたが、この働き方は適切ではないと思いました。これからは、すべ

ての人が仕事と生活が両立できる働き方をしていくべきだと考えています。

教師生活の中で心に残るエピソードがあればお聞かせください

今春、28年前に担任をしていた教え子から「教員に採用されました」と連絡がありました。一度は別の職業に就いたけれど「中学校の教師になりたい」と教員免許を取得して採用試験に臨んだとのことでした。「ぜひ報告したくて」と学校まで会いに来てくれたのです。教師を続けていて本当に良かったと思いましたね。教頭時代には、5年生の児童が図工で私の顔を版画にしてくれたんです。似ているですよ。今も大切に校長室に飾っています。

昨今、教師は大変だと敬遠されがちな職業ですが、何より人の人生に関わることができ、希望を育てる「未来志向」の仕事だと実感しています。

これから未来をつくる人たちに伝えたいことは何でしょうか。

コロナ禍で止まっていた多くの催しが、再び参集して行われるようになりました。やはり、リアルな場からは熱い思いがダイレクトに伝わってきます。デジタル化が進む中ですが、足を運んで会って話すと、分かり合えることがあります。ですから、若い方々にはぜひ、失敗を恐れずに、直接人とつながってほしいですね。

教育の原点は「人とつながることを教える」ことだと思っています。一人ではできないことも、人とつながるとできることがある。そのために、人とつながる方法を身につけていきたいものです。



時間ができたら、
電車でいろんな
街を訪ねて
みたいです♪



* 見つけた「彼女らしさ」 *

教育等についての熱い思いを丁寧にお話ししてくださり、その語り口からは凛とした品格が伝わってきました。校長室には、地域の方にいただいたというメダカの水槽がいくつもあり、子どもたちの学びにもなっているとのこと。子どもたちの話になると、目を細めて温かなまなざしになる様子に、阿形さん「らしさ」を感じました。